

補助事業等実績報告書

平成 26 年 4 月 18 日

岡山市長 大森雅夫 様

補助事業者
 住所又は所在地 岡山市中区兼基107番地2
 氏名又は団体名 特定非営利活動法人杜の家
 及び代表者氏名 理事長 大森 一弘



岡山市補助金等交付規則第16条第1項の規定により、次のとおり報告します。

指令年月日	平成 25 年 11 月 18 日	指令番号	岡山市指令安第 1135 号
補助年度	平成 25 年度	補助金等の名称	岡山市市民協働推進事業補助金
補助事業等の名称	岡山市市民協働推進モデル事業「施設児童退所支援のための実態調査」		
補助事業等の施行場所	岡山市		
着手年月日	平成 25 年 12 月 1 日	完了年月日	平成 26 年 3 月 31 日
補助金等の交付決定通知額	800,000 円		
補助金等の既交付額	600,000 円		
補助事業等の経費精算額	1,004,409 円		
補助事業等の経過及び内容	岡山市子ども総合相談所と子ども企画総務課、特定非営利活動法人杜の家の協働により、退所児童支援のための視察と施設退所支援のための調査を実施した。これにより児童養護施設等の退所生の支援の必要性が明らかとなった。また、鳥取県にある一般社団法人ひだまりへの視察を行うと同時にシンポジウムの講師として来ていただき、調査の報告と鳥取県での退所後支援の現状についてお話を聞いた。		
添付書類 1 収支決算書 2 事業報告書 3 その他	※ 報告事項審査結果(担当課) 適当と認める(武)		

注 ※印の欄は記入しないこと。

事業報告書

事業名	施設児童退所支援のための実態調査 事業
事業の実施状況	<p>①施設児童退所支援のためのアンケート調査 調査期間… 平成26年1月6日～2月10日 調査目的… 児童養護施設等退所者の受けた教育と現状とを比較、調査する。 対象者… 児童養護施設等を15歳以上で退所し、おおよそ10年以内の者 調査者… 3名 特定非営利活動法人杜の家 事務局長 大森浩史 赤木剛、粟井健太 調査母数… 配布数:185件 有効回収数50件 有効回収率27% 調査結果… 施設を退所した子ども達の多くは生活に必要な能力については施設で教えられており、身につけているが、「年金や健康保険などの制度について」は知る機会が少なく、16%もの人が「加入していない」と答える結果となった。また「分からない」と答えた者も14%存在し、30%近くもの者が年金未加入の可能性があると結果となった。 また、仕事についても一般の正社員率よりも低い47%という結果が出ており、継続した就労相談や将来にわたって安心して生活できるサポートが必要である。詳しい内容は調査報告書参照。</p> <p>②退所児童支援のための視察 実施日… 平成25年12月12日 調査目的… 退所後支援を平成20年より行っている一般社団法人ひだまりに視察を行い、実際に行っている支援活動や、組織形態の聞き取りを行い、今後の岡山での支援活動へと生かしていく。 調査者… 3名 特定非営利活動法人杜の家 事務局長 大森浩史 赤木剛、粟井健太 視察結果… 母体となっている社会福祉法人鳥取こども学園は、100年を越す歴史のある児童養護施設であるため、多くのOBOGがいる。これまでは施設職員がアフターケアを実施していたが上手く行かず、これまで自立援助ホーム等を利用し、18歳以降も支援が出来るようサポートしてきた。現在支援をされていて多いのが、退所者の生活保護が多くなって居ることである。職員としても受けさせたくないため、間に入って支援を行ったりもしている。 退所後の相談の数は多く、仕事が無い、上手くいかないという物から、彼女と上手くいかないなど多岐に渡る相談が来ている。 [業務内容について] 支援対象者に対してはどのような方で、どのような事が出来るのかを見極めるため、様々な仕事を用意している。これらを通じて退所生の状況を把握したり、本人にも向き不向きを認識させる支援を行っている。また上手く行かない方の多くは発達障害、知的障害の可能性があり、障害福祉サービスとの連携が必須となっている。 [継続した支援が必要な事] 退所生の中にはお金の管理が難しく、自分で出来ない者も居るため、日を決めて定期的な管理指導を行っている。また保証人については誰もが困っているが、滞納なども多く現在は実施していない。しかし問題があった場合は緊急対応やサポートを行うという体制にしている。 [女性の支援について] 女性の場合は母子支援施設にお願いしている。ひだまりでは一時宿泊も出来るようにしているが、極力階層を分け、男女が一緒に居ない環境にしている。 [OBOGの交流会について] 職員が指導をしてもいい結果にならない場合もある。そのためOBOGが集まり、お互いが情報交換できる場所を作っている。 [施設との連携について] 退所前に施設職員が子ども達を連れてきて、相談の仕方や連絡調整などもしています。これによりお互いが安心して連携を取れるようにしています。</p> <p>③施設退所生に対するインタビュー調査 調査期間… 平成26年3月1日～3月12日 調査目的… 児童養護施設等退所者生の困ったことを調査し、問題の構造化と生活の中で感じた必要な支援の聞き取りを行う。 対象者… アンケート調査の返信のあった者のうち4名 調査者… 特定非営利活動法人杜の家 事務局長 大森浩史 調査方法… 1対1での面接を行い、構造化インタビューを行う。 インタビューの際は8つの分野の写真や事例を店、出てきた項目に関してはラダーリング法を用いる。</p>

調査結果・・・調査結果は「日常生活について」「仕事について」「契約・防犯について」の3種類に分類することができた。詳しい内容は調査報告書参照

④シンポジウムの実施

実施日・・・平成26年3月14日 13:30～16:30

場 所・・・岡山市勤労者福祉センター4階

講 師・・・中嶋進一 氏（鳥取県 一般社団法人ひだまり理事長）

テ ー マ・・・社会的養護の子どもたちと施設退所後のための支援

参加者・・・31名

⑤調査報告書の作成

調査の取りまとめとして報告書を作成・配布する。

作成部数・・・80部

配布先・・・行政、児童養護施設等、その他児童支援に関する団体

またホームページ上に置いて、報告書を記載し、自由に閲覧出来るようにする。

事業の
実施
状況

収支決算書

特定非営利活動法人杜の家

支出の部				
事業内容	経費区分	当初予算	事業	内約
施設児童退所支援のためのアンケート調査	事務用品費	¥10,000	¥9,969	封筒・用紙・インク代
	通信費	¥48,000	¥44,000	140切手80円切手200枚
	人件費	¥300,000	¥300,000	アンケート表の集計分析費
	謝金	¥50,000	¥50,000	調査についての指導
	小計	¥408,000	¥403,969	
退所児童支援のための視察	交通費	¥30,000	¥26,340	2014/12/12鳥取県の 一般社団法人ひだまりに 視察(3名)
	小計	¥30,000	¥26,340	
施設退所生に対するインタビュー調査	人件費	¥200,000	¥200,000	担当者人件費
	交通費	¥5,000	¥3,200	訪問時の駐車場代
	小計	¥205,000	¥203,200	
シンポジウムの実施	議事進行役謝金	¥30,000	¥30,000	
	講師謝金	¥50,000	¥50,000	(社)ひだまり中嶋様
	交通費(往復)	¥20,000	¥15,000	講師交通費。鳥取岡山間
	事務用品費	¥5,000		
	パンフレット制作費	¥90,000	¥90,000	シンポジウム用パンフレット
	会場人件費	¥15,000	¥15,000	会場設置、受付人件費
	小計	¥210,000	¥200,000	
調査報告書の作成	執筆費	¥100,000	¥100,000	40ページの冊子作成
	報告書印刷費	¥47,000	¥70,900	80部の冊子印刷
	小計	¥147,000	¥170,900	
合計		¥1,000,000	¥1,004,409	

収入の部			
内容	当初収入予定	収入金額	概要
岡山市市民協働推進事業補助金	¥800,000	¥800,000	
自己資金	¥200,000	¥204,409	
合計	¥1,000,000	¥1,004,409	